

日記

一九四九年（昭和二十四年）

宮本百合子

青空文庫

五月二十二日（日）

休日

このごろ日曜は完全休日にする。

五月二十三日（月）

仕事

五月二十四日（火）

五月二十五日（水）

五月二十六日（木）
仕事、治療。

五月二十七日（金）
仕事、大森さん開成山へゆく。

五月二十八日（土）
仕事。

五月二十九日（日）

休日

このごろ、バレーボールがはじまった。宮、古村、咲、熱血キヤーキヤーワーワー。我を忘れて見物。宇佐美、青い服、遊んで桃色に見える手や足、若葉　古村のしやれ。なかなかおもしろい。

五月三十日（月）

仕事。

ずっとつけていた黒い手帖が見えなくなってしまった。惜しい。しかたがないからまたでて来るまでこれにつける。仕事今月は百

枚突破のヨテイ。

五月三十一日（火）

小説一〇三枚になった。

六月二十八日（火）

政治局と新日本文学、文化部その他の合同会議、党員芸術家会議うち合わせで、**ヨ**が宮本百合子の作品の大悪口を云った由。

七月一日（金）

あんまりむちやで殆ど基本的人権をふみにじっているから抗議

をかいた。（下がき）

大森寿恵子とまる。

七月二日（土）

四部コピーをとって、一部To、文化、新日本文学におくる。

七月三日（日）

党員芸術家会議、前進座、宮、出席、大村（今日これをよむのかね）（次第によっては、ね）クラ、（百合子さんのをよんだか。話が出たらよまなくてはなるまい）Nish（ヤーきようは宮本百合子のことは話さんよ）

どうして「ヨ」が話すか話さないか知っているのだろう。

七月五日（火）

宮、治療

国鉄総裁下山行方不明、いかにもCOMが暴力をふるったように扱っている。

七月六日（水）

「ヨ」のおかげで仕事を八日も棒にふってしまった。

七月七日（木）

下山、おかしいところで、ひかれている。この辺に女がある
(自分) 自殺説をつよく感じる。

七月九日(土)

治療

七月十一日(月)

小説88枚(第二章わたす)

宮自由病院でしらべ、幽門にひきつれ(痕跡)があるだけとい
う。政治局員に、まわしよみをさせている由、おどろき入ったも
の。

青空文庫情報

底本：「宮本百合子全集 第二十五卷」新日本出版社

1981（昭和56）年7月30日初版

1986（昭和61）年3月20日第4刷

入力：柴田卓治

校正：富田晶子

2020年1月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<https://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたった

のは、ボランテニアの皆さんです。

日記

一九四九年（昭和二十四年）

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

著者 宮本百合子

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>